

目 次

I. 総括研究報告	
OECDプログラムにおいてTGとDAを開発するためのAOPに関する研究-----	1
小島 肇	
II. 分担研究報告	
1. AOP、TG、DAの開発、AOP国内マニュアルの作成-----	22
小島 肇	
2. 発がん性試験のTGおよび発がん性AOP開発-----	182
小川久美子、西川秋佳	
3. 非遺伝毒性発がんの免疫組織化学染色による評価法確立-----	189
豊田武士	
4. 免疫毒性試験のTGおよび免疫毒性AOP開発-----	196
相場節也	
5. 免疫毒性のAOP開発-----	228
足利太可雄	
6. 光安全性試験のTGおよび光毒性AOPの開発-----	374
尾上誠良	
7. 遺伝毒性のAOP開発-----	379
杉山圭一	
8. 腎障害の分子メカニズムに関する研究-----	385
松下幸平	
9. Bhas42細胞形質転換試験法のTG開発-----	391
大森清美	
10. OECD プロジェクトに関わる国内専門家の管理-----	394
平林容子	
11. 毒性等情報収集-----	399
山田隆志	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表-----	409